

クマネズミとドブネズミ

都市にすみつくネズミ



クマネズミ※ 体長15～23cm



ドブネズミ※ 体長22～26cm



かん どんじゆうけつ せんちゆう
広東住血線虫



巣穴



ドブネズミの頭骨 (キバが鋭く長い)



フンの比較 (左からドブネズミ1.3～1.9cm、クマネズミ0.8～1.3cm、ハツカネズミ0.5～1.3cm)

※(財)日本環境衛生センターの提供による。

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

発生 多い

ネズミは、人のまわりに住む有害動物の代表です。長年、防除法が工夫されてきましたが、今でもネズミとの智慧比べが続いています。衛生的な被害に加えて、食品や電線をかじるなど経済的な被害も多くなっています。

(クマネズミとドブネズミ)

被害が多いのは、クマネズミとドブネズミですが、小型のハツカネズミ(体長6～9cm)の例もあります。

クマネズミは体長15～23cm、都心のビル街の優占種です。登はん力にすぐれるなど、ビル環境に合い、繁殖しています。

ドブネズミは体長22～26cmで、23区は下水道、多摩地区では穴を掘って生活をしている例が多く、食物を求めて家屋に侵入してきます。

防除

食料品、生ゴミは容器に入れ、放置しないようにします。配管まわりなどはネズミが侵入しないように、すきまをふさぎます。

クマネズミは粘着剤を使います。ドブネズミは、殺そ剤、粘着剤、金網トラップ(カゴの捕獲器)などを活用します。